

平成25年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	相談支援の充実等に係る自治体システム整備等事業		担当部局庁	社会・援護局障害保健福祉部		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成26年度		担当課室	企画課		井上 誠一		
会計区分	一般会計		政策・施策名	VIII-1-1 障害者の地域における生活を支援するため、障害者の生活の場、働く場や地域における支援体制を整備すること				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	障害者総合支援法第29条第7項等		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	障害者の社会参加を支える障害福祉サービス事業所等への報酬支払が円滑かつ適切に行われるとともに、利用者に対するサービス等利用計画の作成の推進が図られるよう、自治体の受給者情報管理システム等の整備等を行う。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	より本人の心身の状況や生活環境に合った適切なサービス等利用計画の作成等につなげるため、給付実績データの集計・分析機能を附加させるなど、自治体の受給者情報管理システム等の整備等をするとともに、平成27年度報酬改定等に対応して、障害者の社会参加を支える障害福祉サービス事業所等への報酬支払が円滑かつ適切に行われるためのシステム整備等に要する経費を補助する。 実施主体:都道府県及び市町村 補助率:1/2							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
		当初予算				2,955		
		補正予算						
		繰越し等						
	計					2,955		
	執行額							
執行率(%)								
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値(25年度)	
	本事業は、平成27年度報酬改定等に伴う自治体の受給者情報管理システム等の整備等に必要な経費を補助することで、制度の円滑な運営を図ることを目的とするものであり、経費の性質上、成果として数値で定量的に示すことのできる指標はないところである。		成果実績	-	-	-	-	
			達成度	-	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込	
	事業実施自治体数(都道府県、市町村)		活動実績	-	-	-	-	
			(当初見込み)	( )	( )	( )	( )	
単位当たりコスト	-		算出根拠	-				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	補助金	0	2,955	「新しい日本のための優先課題推進枠」2,955				
	計	0	2,955					

事業所管部局による点検				
	項目	評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	障害者総合福祉法に基づき、制度の適正かつ円滑な運用を図るために必要不可欠な事業である。システム整備等費用は高額なものとなり自治体の負担も大きい。国からの財政支援は必要である。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	報酬改定等に伴うシステム整備等であり、国が主体となって実施する必要がある。	
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	-		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-		
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	国1/2、都道府県・市町村1/2の負担割合であり、妥当である。	
	単位当たりコストの水準は妥当か。	-		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	障害者総合福祉法に基づき、制度の適正かつ円滑な運用を図るために必要となる自治体システム整備等にのみ補助する。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-		
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-		
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名	
点検結果	障害者の社会参加を支える障害福祉サービス事業所等への報酬支払が円滑かつ適切に行われるとともに、利用者に対するサービス等利用計画作成の推進が図られるよう、自治体の受給者情報管理システム等の整備等に要する経費を補助することとしており、自治体からの要望等を踏まえ、必要となる額を要望するものである。			
外部有識者の所見				
点検対象外				
行政事業レビュー推進チームの所見				
-	本事業は、自治体の報酬支払い及び受給者情報管理を行うためのシステムを整備するための経費であり、必要性の観点から優先度の高い事業である。			
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況				
-	-			
備考				
関連する過去のレビューシートの事業番号				
	平成22年	平成23年	平成24年	

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

厚生労働省  
(2,955百万円)



〔自治体システム整備等に要する  
経費として補助(1/2)〕

A. 都道府県、市町村  
(2,955百万円)

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
しているかについて補足する)  
(単位：百万円)

費目・使途  
 (「資金の流れ」に  
 においてブロックご  
 とに最大の金額  
 が支出されている  
 者について記載  
 する。費目と使途  
 の双方で実情が  
 分かるように記  
 載)

			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

平成25年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	国連・障害者の十年記念施設整備費等	担当部局庁	社会・援護局 障害保健福祉部	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成26年度	担当課室	企画課 自立支援振興室	君島 淳二			
会計区分	一般会計	政策・施策名	国連・障害者の十年記念施設(国際障害者交流センター)は、障害者の生活の場、働く場や地域における支援体制を整備すること				
根拠法令(具体的な条項も記載)	—	関係する計画、通知等	—				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	国連・障害者の十年記念施設(国際障害者交流センター)は、障害者の交流事業、障害者の芸術・文化発展の取組み、災害時の後方支援等の機能により、障害者の社会参加を促進する施設として国が設置している施設であり、その適切な施設運営・管理を図ることを目的とする。						
事業概要(5行程度以内。別添可)	当該施設は、建設(平成13年9月開設)から10年以上経過し、屋上防水箇所及び外壁塗装箇所の劣化が著しく、風雨時に雨漏れが発生している状況にあり、今後の施設運営に多大な影響を生じかねない状況となっていることから、障害者の社会参加の促進に資する施設、大規模災害時の拠点施設として、その適切な施設運営・管理を図るため、早急に大規模改修工事を行う。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額(単位:百万円)	予算の状況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		当初予算				54	
		補正予算					
		繰越し等					
	計					54	
	執行額						
執行率(%)							
成果目標及び成果実績(アウトカム)	成果指標	単位	22年度	23年度	24年度	目標値(年度)	
	本事業は、障害者の交流事業、障害者の芸術・文化発展の取組み、災害時の後方支援等の機能により、障害者の社会参加を促進する施設の改修工事であり、特定の効果や実績を数値で定量的に示すことは困難である。	成果実績		—	—	—	—
		達成度	%	—	—	—	
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標	単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込	
	整備事業数	活動実績(当初見込み)					
単位当たりコスト	—	算出根拠	施設整備に係るコストは、整備内容によって異なるため、単位当たりのコストの算出は困難である。				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	施設施工旅費		0.5	26年度新規要求			
	施設施工庁費		5.5	"			
	国連・障害者の十年記念施設整備費		48	"			
	計		54				

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国 必 費 投 入 の	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	国連・障害者の十年記念施設(国際障害者交流センター)は、障害者の交流事業、障害者の芸術・文化発展の取組み、災害時の後方支援等の機能により、障害者の社会参加を促進する施設として国が設置している施設であり、その適切な施設運営・管理を図るため、国費の投入は必要である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	国連・障害者の十年記念施設(国際障害者交流センター)は、障害者の交流事業、障害者の芸術・文化発展の取組み、災害時の後方支援等の機能により、障害者の社会参加を促進する施設として国が設置している施設であり、その適切な施設運営・管理は国が実施すべきもの。		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○	障害者の国際交流機能、重度・重複障害者を含む全ての障害者の交流機能、芸術・文化の発信機能、大規模災害時の後方支援機能を有する施設として、障害者の社会参加を促進するため、近年益々施設の重要性は増しており、早急な改修が望まれており、優先度は高い。		
事 業 の 効 率 性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		—			
	受益者との負担関係は妥当であるか。		—			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		—			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		—			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—			
事 業 の 有 効 性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		—			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		—			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		—			
重 複 排 除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点 検 結 果	—					
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
—	本事業は、障害者の社会参加の促進及び大規模災害時の拠点施設に係る大規模改修を行うための経費であり、必要性の観点から優先度の高い事業である。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
—	—					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	—	平成23年	—	平成24年	—

※平成26年度新規要求案件のため、イメージ

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
しているかにつ  
いて補足する)  
(単位:百万  
円)

厚生労働省

- ・施設施工旅費:0.5百万円
- ・施設施工庁費:5.5百万円
- ・整備費 :48百万円

(注)計数は端数処理(四捨五入)している。



費目・使途  
 (「資金の流れ」に  
 おいてブロックご  
 とに最大の金額  
 が支出されている  
 者について記載  
 する。費目と使途  
 の双方で実情が  
 分かるように記  
 載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

平成25年行政事業レビューシート

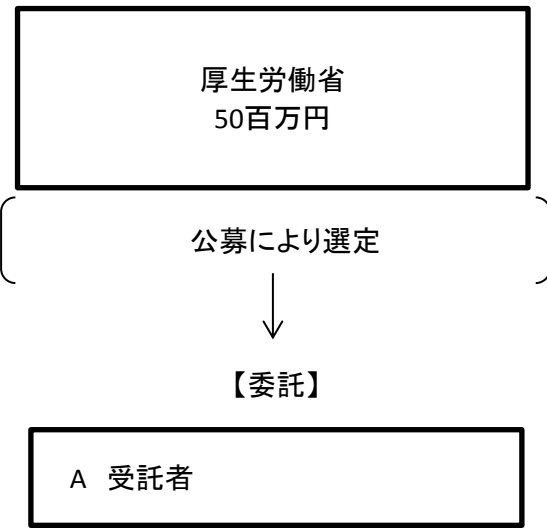
(厚生労働省)

事業名	重度精神疾患標準的治療法確立事業		担当部局庁	社会・援護局障害保健福祉部		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成26年度		担当課室	精神・障害保健課医療観察法医療体制整備推進室		清水 昌毅	
会計区分	一般会計		政策・施策名	Ⅷ-1-1 障害者の地域における生活を支援するため、障害者の生活の場、働く場や地域における支援体制			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律の施行の状況についての検討結果(平成24年7月法務省・厚生労働省)			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	統合失調症等の重度の精神疾患について、より効果的な治療法等の確立を目指し、治療水準の向上を図るため、指定入院医療機関における対象者・医療等に関する情報を評価・分析できる仕組みを整備し、医療の質の向上につなげる。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	指定入院医療機関の診療データ等について、必要事項を匿名化した上で、抽出・集積し、評価分析等に資するとともに、指定入院医療機関へのフィードバック等を行う。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		当初予算				50	
		補正予算					
		繰越し等					
	計					50	
	執行額						
執行率(%)							
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	診療データ提供施設数	成果実績		-	-	-	-
		達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	診療データ提供施設数	活動実績 (当初見込み)		-	-	-	-
					( )	( )	( )
単位当たりコスト	-		算出根拠	-			
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	重度精神疾患標準的治療法確立事業	-	50				
計	-	50					

事業所管部局による点検			
	項目	評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	医療観察法に基づき、心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の円滑な社会復帰のため、国が医療を提供することとされており、国の委託を受けて医療を行う医療機関の医療の質の向上を図ることを目的としており、国として実施する必要がある。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	医療観察法に基づき、心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の円滑な社会復帰のため、国が医療を提供することとされており、当該医療の向上を図るため、国が実施する。
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	○	「心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律の施行の状況の検討結果」において、指定入院医療機関の医療の質の向が必要とされている。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	
	単位当たりコストの水準は妥当か。	-	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	-	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名
点検結果	—		
外部有識者の所見			
点検対象外			
行政事業レビュー推進チームの所見			
—	本事業は、より効果的な治療法等の確立を目指し、重度の精神疾患に関する情報を評価・分析するための経費であり、必要性の観点から優先度の高い事業である。		
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況			
—	—		
備考			
関連する過去のレビューシートの事業番号			

	平成22年	-	平成23年	-	平成24年	-
--	-------	---	-------	---	-------	---

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
しているかについて補足する)  
(単位: 百万円)

費目・使途  
 (「資金の流れ」に  
 おいてブロックご  
 とに最大の金額  
 が支出されている  
 者について記載  
 する。費目と使途  
 の双方で実情が  
 分かるように記  
 載)

			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

平成25年行政事業レビューシート

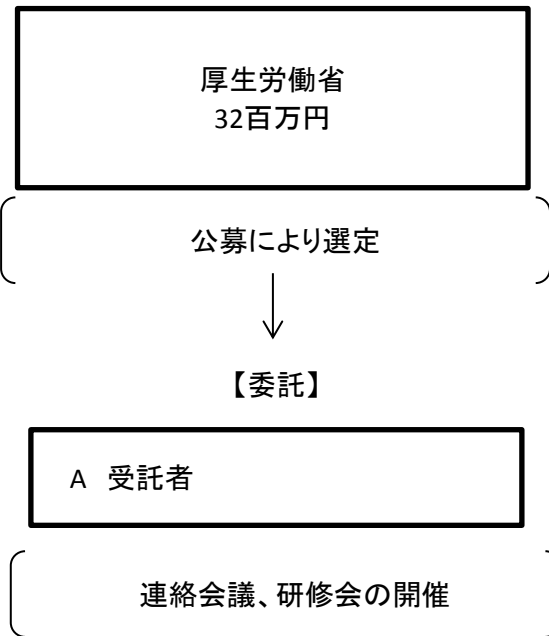
(厚生労働省)

<b>事業名</b>	心神喪失者等医療観察法指定通院医療機関連携体制確保等事業		<b>担当部局</b>	社会・援護局障害保健福祉部		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成26年度		<b>担当課室</b>	精神・障害保健課医療観察法医療体制整備推進室		清水 昌毅		
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>政策・施策名</b>	Ⅷ-1-1 障害者の地域における生活を支援するため、障害者の生活の場、働く場や地域における支援体制を整備すること				
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>	-		<b>関係する計画、通知等</b>	心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律の施行の状況についての検討結果(平成24年7月法務省・厚生労働省)				
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律(以下「医療観察法」という。)に基づき医療を行う指定通院医療機関について、都道府県等の単位での相互の連携体制を確保するとともに指定通院医療機関の新規指定を促進する。							
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	医療観察法に基づき医療を行う指定通院医療機関について、都道府県等の単位で通院医療機関同士の連携体制等を確保するため、連絡協議会等を開催する。 また、新規の指定を検討している医療機関を対象に実地研修等を実施し、新規指定の促進を図るために必要な事業を委託する。							
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>	予算の状況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	32
		補正予算						
		繰越し等						
		計						32
	執行額							
	執行率(%)							
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	指定通院医療機関増加数		成果実績		-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	
<b>活動指標及び活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	連絡会議参加施設数		活動実績 (当初見込み)		-	-	-	-
					( )	( )	( )	( )
<b>単位当たりコスト</b>	-		算出根拠	-				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	心神喪失者等医療観察法指定通院医療機関連携体制確保等事業	-	32					
	計	-	32					



事業所管部局による点検						
	項目	評価	評価に関する説明			
国 必 要 投 入 の	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	医療観察法に基づき、心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の円滑な社会復帰のため、国が医療を提供することとされており、当該事業により当該医療を行う医療機関の医療の向上を図ることを目的としており、優先度の高い事業である。			
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	医療観察法に基づき、心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の円滑な社会復帰のため、国が医療を提供することとされており、当該医療の向上及び医療体制の確保を図るため当該事業にかかる経費を国が支援する。			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	○	「心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律の施行の状況の検討結果」において、指定通院医療機関の整備・充実が必要とされている。			
事 業 の 効 率 性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-				
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-				
	単位当たりコストの水準は妥当か。	-				
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-				
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	-				
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-				
事 業 の 有 効 性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-				
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-				
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-				
重 複 排 除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-				
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点 検 結 果	—					
外部有識者の所見						
点 検 対 象 外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
—	本事業は、指定通院医療機関の連携体制をつくり、医療の質の向上等を図るための経費であり、必要性の観点から優先度の高い事業である。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
—	—					
備考						
—						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	-	平成23年	-	平成24年	-

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
しているかについて補足する)  
(単位：百万円)

費目・使途  
 (「資金の流れ」に  
 おいてブロックご  
 とに最大の金額  
 が支出されている  
 者について記載  
 する。費目と使途  
 の双方で実情が  
 分かるように記  
 載)

			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					